希学園 第414回 小3公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第414回公開テスト 小3国語 解説動画(2026年11月8日実施)	https://vimeo.com/1244603674/2b9f7f92c8

1

① 北西
② 自ら
③ 市場
④ 歌手
⑤ 上京

2

1 チャパティ
2 I エ　II ウ
3 フブス
4 スプーン
5 A ヨ　B ○　C 中　D ヨ

3

1 I イ　II オ
2 A イ　B ア　C コップ　D カード
3 け
4 しかけ
5 銀貨

配　点

1	各2点×　5＝10点
2～3	各5点×18＝90点
	＜計＞100点

希学園 第414回 公開テスト 小3 国語 2026年11月8日実施 【解説】

1

小学校2年生までに学習した漢字から出題している。①「北西」は北と西の中間の方角。冬の季節風がふいてくる方角でもある。日本海側に冷たい空気を運んでくる。②「自ら」は自分のこと。「自ずから」「自ずと」という難しい読みもあるが、それは自然に、ひとりでに、という意味である。③「市場」は多くの商人が集まって商品の売買をするところ。マーケットやマルシェともいう。④「歌手」は歌を歌うことを職業にしている人。⑤「上京」は地方から都に出てくること。現代では東京に行くことである。

2

かたおかふさこ編　『つくってあそぼう⑩　パンの絵本』

1　「例としてあげられている」という条件の意味を正しくつかまなければならない。「ふくれていない平たいパン」は「中近東やアジア」のパンで、それは第三段落(パンはヨーロッパだけの～)の「中近東やインド」のパンのことでもある。その段落に「ピタパン・フブス・チャパティ」と三つの例が「あげられて」いて、五字となると「チャパティ」に決まる。

2　Ⅰ　小麦がグルテンの少ない(あまりふくらまない)種類である　→　さらに　→　大麦やえん麦、あわ、きび、とうもろこしをまぜるからふくらまない。

（「中近東やアジア」のパンがあまりふくらまない理由を、もうひとつ付け加えている）

Ⅱ　黒いパンには野菜に多い栄養素がたっぷりふくまれている　→　だから　→　黒いパンを食べると、野菜を食べたようにからだが元気になる。

（黒いパンを食べると元気になる理由が、前に書かれている）

3　指示語として直接指しているのは、すぐ前の「直径25センチくらいのうすいパン」であるが、「三字のことば」なので「フブス」になる。

4　「チャパティ」を「ちぎって、カレーをすくって食べる」ので、「スプーンの役目」をしていることになるのである。

5　A　「ヨーロッパ」は「森林があって薪が豊富なので、パン窯が使えた」とあった。そして、「中近東やアジア」は「燃料としての木が少ないので、パン窯が使えず」とあった。

B　「ヨーロッパ」の「発酵パン」が「よくふくらむ」のは「グルテンの多い小麦」を使っているからである。また、「中近東やアジア」のパンには「グルテンの少ない」「小麦」に「大麦やえん麦、雑穀のあわ、きび、とうもろこしなどをまぜる」とあった。「種類」はちがうが、どちらにも「小麦」が使われている。

C　「中近東やアジア」は「ふくれていない平たいパン」なので「うすいパン」である。あとに「フブス」や「チャパティ」の例があげられていた。「ヨーロッパ」の「発酵パン」は「よくふくらむ」パンであった。

D　「ヨーロッパ」の「小麦の種類」は「グルテンの多い」ものであった。「中近東やアジア」の「小麦」は「グルテンの少ない種類」である。

3

松浦貞子　『おじいちゃんの手品』

1　Ⅰ　「手品師は命をとられても、タネは教えないことになっている」とあった。「けっして」は、あとに打ち消しの「ない」などをともなって、絶対に、断じてという意味になる。

Ⅱ　「もう一度見せて」とたのんでも「二度続けて見せない」とことわっていたのに、「手品」くらいのことに「一生のおねがい」と言うのがおかしくて、最後には「わらってしまった」のである。

2　A　「目を皿のようにする」は、必死になって物を探すときなどに目を大きく丸く見開くようすである。

B　「一生のおねがい」は本来、一生に一度しかないほど大事な願いごとの時に使うことばである。それを「手品」を「もう一度見せて」ほしいという程度のことに使っている。この「大安売り」の「安」は軽々しいという意味で、平気で使っていて重みがないということである。

C　「横向きにお」いた「コップ」を「立てる」と「コイン」が「コップの底」を「貫通」したのであった。

D　「おじいちゃん」は「コップの中」に「二まいのコイン」を「ならべて」から「カードでコップにふたをして」いた。「ふた」をすることで、「銅貨」が「コップ」のロから飛び出したのではない、つまり「マジック」が成立していることを示している。

3　「エイ、ヤッ！」というのは「かけ声」である。

4　「さっきまで食器だなにあった」「コップ」つまり、ふだん使っているふつうの「コップ」なので、「しかけ」など「ないはず」なのである。

5　「コップの底」の上、つまり「コップの中」には「銀貨が一まいあるだけ」であった。

以　上